



令和6年度 事業報告書

社会福祉法人
聖徳園

目 次

I.	社会福祉法人聖徳園 理念・基本姿勢	2
II.	法人ミッション・中長期経営ビジョン	3
III.	令和6年度事業総括	4
	法人の取組み事例	8
IV.	地域貢献活動	14
V.	組織図	16
VI.	職員数	17

法人理念

社会福祉法人 聖徳園 福祉観

人々の期待に応え 高い信頼を得るために

- 一. ヒューマニズムにたって高度な専門性を持って人のためにつくします
- 一. 子どもの輝く成長を願い 高齢者・障がい者の良質な生活を支えます
- 一. 地域に目を向け 福祉の係わりを見つけ取り組みます

基本姿勢



経営方針

常に業務の改善により前進します

法人ミッション

子どもたちの成長と高齢者・障がい者の方々の良質な生活を支援するとともに、地域に住む一人ひとりが支え合い、安心して暮らせるまちづくりに貢献します。また、社会のニーズにチャレンジ精神で取り組み、新たな事業・サービス活動の創造に挑戦します。

中長期経営ビジョン



事業総括

令和6年度は新型コロナウイルス感染症の事業への影響は小さくなったものの、光熱費増、物価高騰により、引き続き厳しい経営環境となった。

こうした中、第2期中期経営計画の中間年として、各事業所において、利用者増の取り組みや固定経費の見直しによるコスト削減など、収支改善に向けた取り組みを行った。

特に高齢部門においては、介護報酬改定に伴う各種加算の獲得に努めるとともに、本部と拠点間で意見交換を重ね、課題の抽出と対応策の検討を行い、収支改善に努めた。

福祉分野の人材難が深刻化する中、法人採用サイトを通じた情報発信をはじめ、民間の各種サービスも活用しつつ、本部と各事業所の連携による採用活動を展開した。また、職員の働きやすい環境づくりとして、健康経営の取組をスタートした。

令和7年度は、将来にわたり事業を継続、発展させるために、聖徳園のブランドを構築し、内外に発信するブランディング戦略を展開する。特に、令和8年度に迎える創立60周年という節目をめざした取り組みを進めていく。

法人全体の重要事項 実施報告

- ◎令和6年 4月 1日 ワークメイト plus、ショートステイ福照庵 事業開始
- ◎令和6年10月 1日 東山手地域包括支援センター(あしや)受託事業の継続決定
(事業期間：令和6年10月1日～令和12年3月31日)
- ◎令和6年11月22日 健康経営プロジェクト推進チーム設置
- ◎令和7年 3月21日 ワークメイト聖徳園 建物改修工事 竣工
- ◎令和7年 3月25日 福井県妊産婦等生活援助事業の業務委託候補として決定
(ふくい妊産婦支援センターとして令和7年度より事業開始予定)

主な活動実施報告

- ◎理事会： 6月7日、11月29日、3月15日
- ◎評議員会： 6月22日、3月22日

■ 健全な法人運営の推進

令和6年度においては新型コロナウイルス感染症の影響は小さくなったものの、光熱費増、物価高騰により経営環境が続いた。

こうした中、各事業所においては、固定経費の見直しなどの支出抑制に努めるとともに、広報・営業先の開拓など利用率拡大に向け創意工夫を凝らした取り組みを進めた。

高齢部門では、介護報酬の改定に適切に対応するため、各拠点・事業所の代表者や責任者による会議等で検討を重ね、各種加算の獲得など収益向上に繋がる取り組みを行った。

新型コロナウイルス感染症や地震の教訓も踏まえ、事業継続計画(BCP)の運用・見直しによる有事の際における的確な対応や、事故発生時の対応マニュアルの整備などリスクマネジメントに努めた。

また、部門毎に戦略的な事業運営を推進するため、これまでの「経営会議」を「経営戦略会議」として再構築し、法人本部と各事業所が一体となって戦略的経営に努めた。

■ 第2期中期経営計画の遂行

社会福祉法人を取り巻く経営環境の変化に対応するため、令和5年度を初年度とした3カ年計画である第2期中期経営計画の中間年としての取り組みを進めた。

◇ 第2期中期経営計画における重点取り組み課題 ◇

- ① 人材確保・育成の強化
- ② 業務改善の推進
- ③ 健全な財務基盤の構築
- ④ 地域貢献・地域交流・地域連携の推進
- ⑤ 施設建替え・大規模改修・修繕の計画的遂行
- ⑥ 戦略的事業計画への取り組み

令和6年12月に本部と各事業所の責任者間で意見交換を行い、進捗状況や達成度を確認しつつ、新たな課題への対応など状況変化にも柔軟に対処しながら、同計画の遂行をめざして事業運営を行った。

■人材確保・育成・定着

～人材確保～

福祉サービスにおける福祉ニーズは更に急増し多種多様化している。介護分野をはじめとする福祉サービスの提供を継続するため、採用活動においてはリクナビやマイナビ、法人採用サイトを含む募集活動を広く展開し学生エントリー数を増加させた。また、学校訪問を含む各学校担当者との関係づくりや実習生の積極的な受け入れ、人が集まる開催地などを考慮した効率的な就職フェアへの参加、学校とのコラボレーションとして、学生に福祉の仕事の魅力を広く伝える場となる出前授業への参加など多彩な活動を行い、法人全体では25名の新卒者採用となった。中途採用においては、ネットを含む求人媒体や人材紹介業者の活用と共に、「ジョブメドレー」や「ビズリーチ」などスカウト型転職サイトの求人スタイルを導入した。外国人採用では、業者を決定し2名の採用からスタートすることとした。実際の介護業務の従事は次年度の秋以降となる見込み。

～人材育成～

人材育成では、職員全般のキャリア形成の構築の一環として、1年目の職員をまずは10年継続させるには…を念頭にフォローアップ研修の体制づくりを行った。一般層においては日常業務における職員間のコミュニケーション力（いわゆる報連相）向上研修や、管理者層では新たな経営戦略的視点でブランディング形成の理解を深める研修を行った。

～人材定着～

人材定着においては、定年延長（60歳から65歳へ）や産前産後、育児を含む職員のライフワークバランスに柔軟に応じる人事制度の見直しを行った。加えて福利厚生面の啓発活動として、福利厚生のしおりの作成や、職員紹介制度を広く奨励し、人材確保対策と同時に紹介をした職員への報奨金の見直しも行った。

■QMS 活動

法人独自の品質管理システム「QMS活動（クオリティ・マネジメント・システム）」では、5つの推進チーム（内部監査、サービス改善・品質方針・人材育成・文書管理）が活動を行い、サービス品質向上に最大限の効果をを得るため、各部門の連携強化に焦点をあてた取り組みを行ってきた。

令和6年度は、内部監査チームにおいて、各事業の取り組みや手法を共有し、法人全体への知識・取り組み・手法として活用していくナレッジマネジメントの考え方を導入し、内部監査を進めた。また、年4回のマネジメントレビューだけでなく、管理者によるQMS活動への課題検討を実施した。QMS活動の意義を再認識し、また課題意識の共通化を図り、令和7年度はさらなる改善を進めていく。

■ブランディング戦略

利用者や求職者に選ばれ、安定的な事業運営を継続するために、あらゆるステークホルダーに認知され、法人の価値を高める「ブランディング形成」が必要である。

令和6年度は、法人外に向けたアウターブランディングと、法人内に向けたインナーブランディング形成に向けて、先進事例調査や管理者研修を通じブランディングの意義・手法を学び、具体的取組みへ向けての第一歩を進めた。

また、ホームページなどの広報媒体において、法人取り組みをよりアピールし、ブランド認知へとつなげる検討を行った。令和7年度に実施していく。

職員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む法人として社会的な地位を得る「健康経営優良法人」認証取得に向け、プロジェクトチームの設置、認証に求められる体制づくり、職員への健康への意識醸造への取り組みを進めた。これについても、令和7年度のスケジュールにおいて取得申請を実施し、安心して利用できる、安心して働くことができる法人として周知広報を行いさらにインナーブランディング・アウターブランディングを進めていく。

■施設・設備整備の推進

●ワークメイト聖徳園の建物改修工事の実施

昭和59年開設以降、経年劣化による建物本体の老朽化が進んでいるため、今後の事業所運営における施設の安全な維持管理の継続を目的とした改修工事を行った。



●にしのみや聖徳園 大規模改修のあり方検討

開設後、28年が経過する中、施設・設備の老朽化への対応と併せて、浴室やリビングの配置など介護しやすい環境整備など、様々な視点から検討を進め、年度末に改修計画(案)がまとまった。今後、収支改善効果も見極めながら、大規模改修工事の方針を固め、令和8年度の工事着手をめざす。

●福井県妊産婦等生活援助事業の受託準備

あわら地区において、困難を抱える妊産婦等を支援するための「妊産婦等生活援助事業」を福井県から受託、実施するため、必要人員の確保、関係団体との連携による事業実施体制づくりなどの準備を進めた。令和7年度から「ふくい妊産婦支援センター」として事業をスタートする。

法人の取り組み事例 地域貢献の取り組み 1



スマ・カフェ（スマホ・カフェ）の取り組み
／ひらかた聖徳園

↑ひらかた聖徳園 喫茶スペースにて

地域の方と話す中で、文字の入力や電源のオン・オフ、アプリの使い方…など、スマートフォンの操作について色々悩んでおられる方がいることを聞き、市社協CSWとともに、どなたでも参加できて気軽に相談できるカフェを試験的に始めた。

令和6年12月から全4回実施し、延べ41人が参加。

「お店に行くくと有料で気を遣う」「家族には同じことを何回も聞けない」「こういう機会があるのは本当にありがたい」など、好評を博した。

スマホの悩みが解決すると、日常生活上の困りごとの話も出て…施設職員と社協がタッグを組むからこそ、シームレスな対応ができています。



R7年度は、毎月1回定期開催予定。



地域に開かれた事業所づくり
／いまづ聖徳園

↑いまづ聖徳園 子どもも参加し、餅つきを楽しんだ



↑餅を丸める様子 自然と会話も生まれた

従来は定期的に地域の方を対象としたイベントを行っていたが、コロナ禍により途切れ、感染症状況により再開できない状況が続いていた。

令和6年度は、地域に根差した施設であるために、地域との関わりづくりとして、「地域講座」や「餅つき」といった顔を突き合わせて関わるイベントを再開し、地域の方との交流を進めた。

以前と変わらず参加していただいた方や楽しみにしていた方、初めて参加された方など、多くの地域住民に参加を頂いた。

法人の取組み事例 地域貢献の取組み2



地元高校生とのコラボレーション
／あしや聖徳園 CommunitySpace ふらっと

G 線上のアリアなど名曲を演奏していただいた↑

昨年に引き続き、分かりやすい丁寧な講座↓

地域向けに様々なイベントを開催する中、甲南高校とコラボレーションしたイベントであるクラシック同好会との音楽会、ボランティア部との熱中症講座を開催した。

ここ数年の取り組みにより、学校との良好な関係も築けている。聖徳園×学校×地域の方の交流が生まれ、地域交流、世代間交流の場となっている。



地域高齢者の居場所づくり
／あわら聖徳園

↑↓カップに好きな食材を重ね、パフェづくりに取り組む様子

福井県あわら市地域では、独居高齢者など高齢世帯の増加が地域的課題としてあがっている。

あわら聖徳園（小規模多機能／グループホーム）では、地域高齢者の居場所作りとして、「いきいきサロン」を開催、近隣の方との交流を行った。今後も定期的な開催を行い、居場所の一つとなるように進めていく。



法人の取組み事例 ICT 化（保育所）



↑登園・降園システム：保護者がカードのQRコードをかざし登園／降園の時刻を記録する

2016 年から導入したクラウド型保育業務ソフト「キッズビュー」。導入から、保育計画や出欠管理など紙書式からの ICT 化を図ってきた。

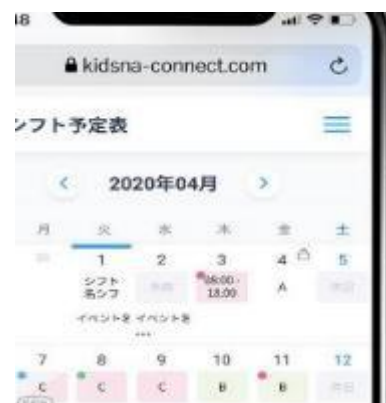
令和 6 年度はさらなる業務改善、サービスの向上をめざし、さらなる機能の活用を行った。タブレットを用いた、園児の登園・降園時の時間記録機能により、紙での保護者の記入の省力化・ペーパーレス化と共に、延長保育料金の自動集計、記録の集約ができ、業務効率化へとつながった。また、コミュニケーション機能の活用により保護者スマートフォンへお知らせや手紙の配信を実施し、確実な配布、事務作業効率化に繋げている。

職員の勤怠管理についても、別途保育事業の勤怠管理に特化したクラウドシステムを導入した。シフト表作成支援、タイムカード機能を現在使用しており、今後は職員スマートフォンからの有給などの申請や、また給与計算の事務作業効率化など、機能を活用すべく体制を整えていきたい。



↑出退勤管理システム

↓職員スマホのシフト表イメージ



法人の取組み事例 障がい理解への啓発（福祉教育）

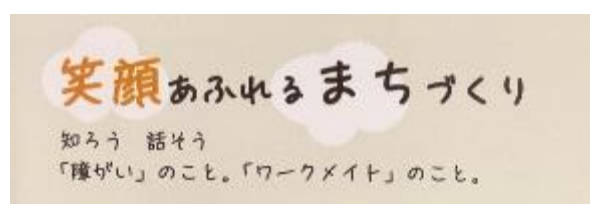


↑ 冊子表紙（部分拡大） ワークメイト（利用者）の笑顔がクローズアップされている

ワークメイト西宮地域3施設において、小学校・中学校向けの障がい・障がい者への理解の促進および聖徳園の支援について分かりやすくまとめた冊子を作成した。

子どもたちにも障がいに理解をしてもらい、興味を持ってほしいという思いから、実際の利用者の様子、聖徳園での支援を織り交ぜた内容で、企画・構成はすべて職員により作成、印刷業者により製本された。

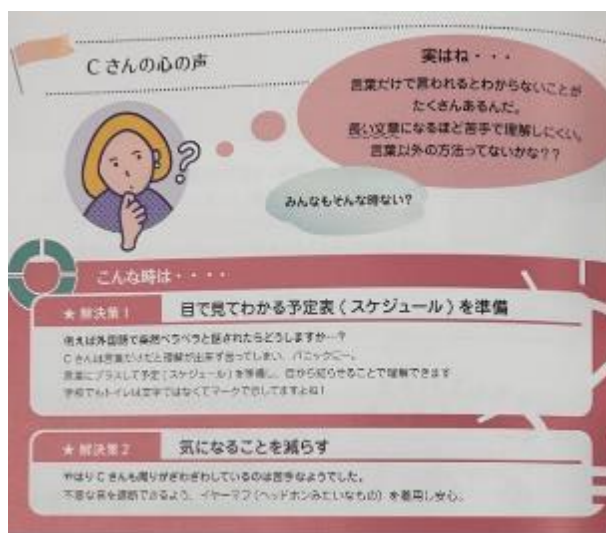
令和7年度には、兵庫県公立中学生の職業体験・福祉体験である「トライやるウィーク」で訪れた中学生へ説明のうえ渡し、その繋がりから、中学校や小学校への配布、学校の特別活動等の授業の一環に冊子を活用するなど、障がい理解促進活動へと進めていきたい。



↑ 冊子表紙（全体）



↑ 利用者の写真が多数



↑ 障がいの特性を分かりやすく紹介

法人の取組み事例 ブランディング



ブランディング研修の実施
法人全体研修

↑各事業の施設長はじめ事業所長・主任など管理者が集合し学びを共有した

令和6年8月21日（水）聖徳文化ホールにて、50名を越える管理者を対象に、ブランディング研修を行った。福祉で数々の広告を手掛けられている㈱ユナイテッド・トゥモロー尾関氏を講師に迎え、分かりやすい講義・ワークの中でブランディングへの理解を深め、ブランドを可視化する手法を学んだ。

今後、「聖徳園ブランド」の価値を高め、利用者に安心して質の高いサービスを提供できるよう、取り組みを進めていく。



↑グループでブランディング手法の体験・発表

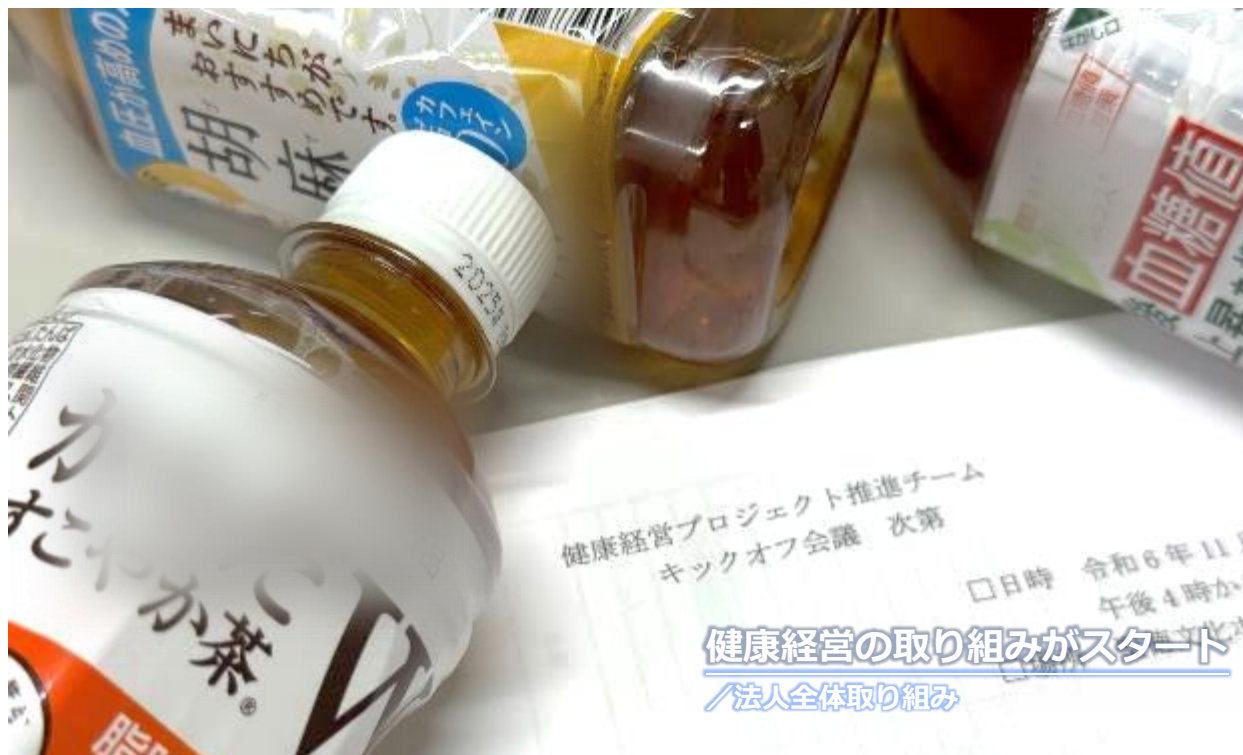
< ブランディングとは >

サービスのオリジナリティや魅力の発信により、そのブランドの価値・信頼性・認知度を向上させ、利用する方の満足度を上げる活動



↑豊富な実績・事例を交え、講義を頂いた尾関氏

法人の取組み事例 健康経営の取り組み



↑プロジェクトチームによるキックオフ会議次第と当日配布された健康をうたう各種飲料

令和6年11月22日、聖徳文化ホールにて健康経営プロジェクト推進チームのキックオフ会議が行われた。同チームは各事業所の事務長や看護師をはじめとする職員から構成されており、会議では理事長の健康経営宣言のあと活発な意見交換が行われた。

また、具体的な取組として、健康づくりに関する情報を職員に伝えるため「健康づくり通信」を定期的に発刊することとした。

今後、経済産業省の認証制度「健康経営優良法人」の認証取得をめざし、職員の心身の健康づくりを進め、さらなるサービスの向上につなげていく。



↑会議の様子

↓メンバー集合写真



↓第1回クイズ景品「睡眠の質を高めるチョコ」

↓職員向け「健康づくり通信」

創刊号のテーマは『睡眠』

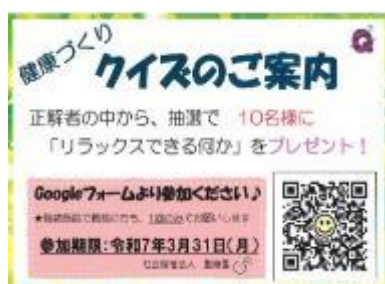
今後、定期刊行する予定



↓通信とともにクイズを発信

第1回の正解率は約半数。

正解者から抽選でプレゼント



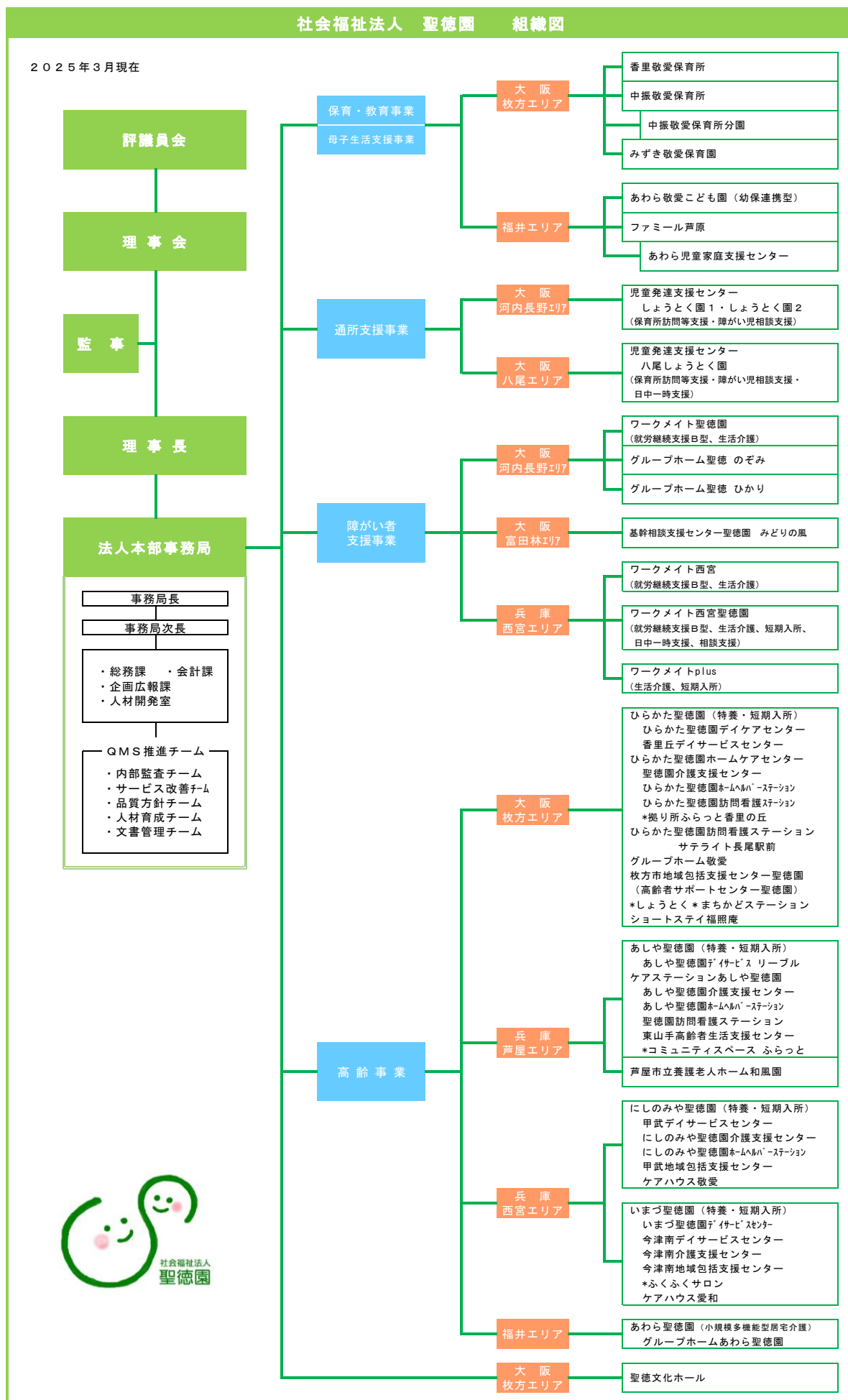
地域貢献活動

●令和 6 年度 地域貢献事業一覧●

事業所名	取り組み内容	頻度	参加人数
香里敬愛保育所	育児相談	不定期	71 名
香里敬愛保育所	こぐま組（未就園児対象）	14 回	23 組
香里敬愛保育所	地域保育参加	12 回	16 組
香里敬愛保育所	ふれあい体験（0 歳および 1 歳の未就園児対象）	各月 2 回	47 組
香里敬愛保育所	園庭開放	月 1～2 回	124 名
中振敬愛保育所	育児相談	不定期	31 名
中振敬愛保育所	こぐま組（未就園児対象）	12 回	31 組
中振敬愛保育所	地域保育参加	9 回	12 組
中振敬愛保育所	ふれあい体験（0 歳および 1 歳の未就園児対象）	月 2 回	61 組
中振敬愛保育所	園庭開放	月 1 回	87 名
中振敬愛保育所	地域子育て支援拠点事業	177 回	978 名
みずき敬愛保育園	育児相談	不定期	90 名
みずき敬愛保育園	ふれあい体験（0 歳および 1 歳の未就園児対象）	月 2 回	82 組
みずき敬愛保育園	地域保育参加	月 1～2 回	20 組
みずき敬愛保育園	園庭開放	月 1 回	26 名
みずき敬愛保育園	一時預かり	毎日	2,265 名
しょうとく園	外来訓練（PT・OT・ST）の実施	1 回/1 週～4 週	418 名
しょうとく園	障がい児等地域療育事業（対象地域 河南町、太子町、千早赤阪村）実施	週 1 回	5 名/週
しょうとく園	移動動物園の開催	年 1 回	200 名
しょうとく園	富田林放ディまつりへの出展参加	年 1 回	3 名
しょうとく園	河内長野サトスポスポーツチャレンジへの出展参加	年 1 回	4 名
八尾しょうとく園	未就園児対象の親子教室（保育・遊びの体験、育児相談）	年 6 回	22 組
ワークメイト plus	NPO 法人と連携し地域への合理的配慮の啓発活動の実施	3 回	30 名程度
ワークメイト plus	地区高齢者部会の活動「いきいきサロン」への参加	5 回	50 名程度
ワークメイト西宮聖徳園	地域への一部フロア開放	10 回	60 名程度
ワークメイト西宮	地域企業から依頼の箱折作業の実施	週 2～3 回	—
あわら敬愛こども園	ひとり親家庭や特定妊婦等を対象にこども食堂まるを開催	2 回/月	35 名程度
ファミリー芦原	経済的に困窮している家庭の児童を対象に学習支援教室を開催	毎週土曜日	15 名程度
あわら聖徳園（小規模・GH）	地域高齢者の居場所作りとして、いきいきサロンを開催	1 回/月	12 名程度
あわら聖徳園（小規模・GH）	地域の一人暮らしの高齢者の見守り活動	1 回/月	5 世帯程度
あわら敬愛こども園	未就園児の親子教室を開催	2 回/週	10 組
ひらかた聖徳園 地域連携課	校区コミュニティ協議会（役員会・定例会、祭り、敬老会等）	15 回	—
ひらかた聖徳園 地域連携課	開成・香陽校区福祉委員会（いきいきサロン等）	8 回	約 550 人
ひらかた聖徳園 地域連携課	開成・香陽元気づくり会議（第 2 層協議体）	12 回	—
ひらかた聖徳園 地域連携課	開成元気づくり教室（ボッチャ体験・交流会）	4 回	約 180 人
ひらかた聖徳園 地域連携課	香陽校区 居場所づくり支援（居場所づくり・自主運営化支援）	24 回	約 290 人
ひらかた聖徳園 地域連携課	施設見学会（民生委員・老人会等）	2 回	38 人

地域貢献活動

ひらかた聖徳園 地域連携課	出前講座（自治会・老人会等へ講師派遣）	2 回	約 100 人
ひらかた聖徳園 地域連携課	こもれびカフェ（認知症カフェ）	12 回	22 人
ひらかた聖徳園 地域連携課	スマ・カフェ（スマホ・カフェ）	4 回	41 人
ひらかた聖徳園 地域連携課	よりみち体操教室（ワンコイン・予約不要の体操教室）	43 回	551 人
ひらかた聖徳園 地域連携課	認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座	4 回	約 140 人
ひらかた聖徳園 地域連携課	おおさかしあわせネットワーク（総合相談、食材・家財支援）	3 件	－
ひらかた聖徳園 地域連携課	市社会福祉協議会関係（会議）	1 回	15 人
ひらかた聖徳園 地域連携課	地域包括支援センター関係（会議、研究会、連絡会）	11 回	－
しょうとく＊まちかどステーション	医療相談	週 1 回	57 人/年
しょうとく＊まちかどステーション	居場所づくり	月 12～14 回	933 人/年
しょうとく＊まちかどステーション	無料講座	月 5 回	803 人/年
しょうとく＊まちかどステーション	体操クラブ	月 8～10 回	943 人/年
しょうとく＊まちかどステーション	その他及び新規利用者 112 名を含め延べ来所者数	常設 10:00～16:30 (木・日休み)	5,952 人/年(昨 年比 115.6%)
聖徳園介護支援センター/ふらっと	五条シニアクラブ体操	1 回/週	9 名
聖徳園介護支援センター/ふらっと	ラジオ体操	1 回/週	12
香里丘デイサービスセンター	クリスマスイベント	年 1 回	8 名
香里丘デイサービスセンター	体操教室	年 1 回	6 名
いまづ聖徳園	みなとカフェ	毎週木曜日	各 10 名前後
いまづ聖徳園	地域講座	不定期	10 名
いまづ聖徳園	餅つき	1 回	40 名
いまづ聖徳園	ふくふくサロン今津	月～金	各 15 名前後
いまづ聖徳園	今津地区クリーン作戦（地域清掃活動）	年 2 回	各 10 名前後
いまづ聖徳園	みなと教室	年 1 回	4 名
いまづ聖徳園	ふくふく祭り	年 1 回	約 50 名
今津南地域包括支援センター	包括講座	2 回	5 名
今津南地域包括支援センター	地域講座（老人会、ボランティアセンター協力員研修他）	4 回	6 名
今津南地域包括支援センター	コープまつり 相談コーナー	1 回	3 名
今津南地域包括支援センター	認知症サポーター養成講座	1 回	17 名
今津南地域包括支援センター	用海地区一人暮らし高齢者 新春の集い	1 回	約 100 名
今津南地域包括支援センター	介護者の集い	2 回	各 30 名前後
今津南地域包括支援センター	モルック大会	1 回	10 名
今津南地域包括支援センター	ふくふくサロン応急処置研修	1 回	10 名



職員数

(名)

施設名	正職員	契約・嘱託職員	派遣職員	非常勤職員	合計職員数
法人本部事務局	2	3	0	1	6
ひらかた聖徳園（特別養護老人ホーム）	79	2	0	82	163
デイケアセンター	14	2	0	11	27
香里丘デイサービスセンター	7	2	0	13	22
グループホーム敬愛	2	2	0	6	10
介護支援センター	8	1	0	0	9
訪問看護ステーション	11	2	0	8	21
ヘルパーステーション	9	5	0	45	59
地域包括支援センター（牧野）	10	0	0	2	12
ひらかた聖徳園 小計	140	16	0	167	323
あしや聖徳園（特別養護老人ホーム）	24	2	0	12	38
デイサービス リーブル	5	2	0	2	9
介護支援センター	6	0	0	0	6
ヘルパーステーション	8	0	0	16	24
訪問看護ステーション	4	0	0	2	6
地域包括支援センター	5	2	0	0	7
和風園	7	3	0	3	13
あしや聖徳園 小計	59	9	0	35	103
にしのみや聖徳園（特別養護老人ホーム）	38	4	0	26	68
ケアハウス敬愛	0	1	0	3	4
甲武デイサービスセンター	8	0	0	13	21
介護支援センター	8	0	0	2	10
ヘルパーステーション	7	0	0	24	31
地域包括支援センター	6	0	0	1	7
にしのみや聖徳園 小計	67	5	0	69	141
いまづ聖徳園（特別養護老人ホーム）	23	0	0	13	36
ケアハウス愛和	2	0	0	4	6
いまづ聖徳園デイサービス	5	0	0	4	9
今津南デイサービスセンター	5	0	0	14	19
介護支援センター	5	0	0	0	5
地域包括支援センター	5	1	0	0	6
いまづ聖徳園 小計	45	1	0	35	81
八尾しょうとく園	25	6	0	11	42
しょうとく園（知的）	19	4	0	5	28
しょうとく園（肢体）	10	4	0	6	20
しょうとく園 小計	29	8	0	11	48
ワークメイト聖徳園Ⅰ（就労継続）	8	2	0	5	15
ワークメイト聖徳園Ⅱ（生活介護）	8	1	0	2	11
みどりの風（相談支援）	3	1	0	0	4
グループホーム聖徳	2	0	0	19	21
ワークメイト聖徳園 小計	21	4	0	26	51
ワークメイト西宮（生活介護）	9	0	0	3	12
ワークメイト西宮（就労継続）	6	1	0	0	7
ワークメイト西宮 小計	15	1	0	3	19
ワークメイト西宮聖徳園（生活介護）	4	1	0	1	6
ワークメイト西宮聖徳園（就労継続）	7	2	0	3	12
ワークメイト西宮聖徳園（短期入所）	1	0	0	2	3
ワークメイト西宮聖徳園（生活支援）	1	0	0	0	1
ワークメイト西宮聖徳園 小計	13	3	0	6	22
ワークメイトplus（生活介護）	5	1	0	0	6
ワークメイトplus（短期入所）	0	0	0	1	1
ワークメイトplus 小計	5	1	0	1	7
香里敬愛保育所	17	9	1	33	60
中振敬愛保育所	26	13	0	32	71
みずき敬愛保育園	15	7	0	40	62
あわら敬愛こども園	15	1	1	5	22
ファミール芦原	5	0	0	0	5
児童家庭支援センター	2	0	0	1	3
あわら聖徳園（小規模多機能）	2	1	1	3	7
グループホームあわら聖徳園	4	1	2	1	8
あわら聖徳園 小計	28	3	4	10	45
合計	507	89	5	480	1,081

令和7年3月31日 現在



社会福祉法人 聖徳園

法人本部事務局

〒573-0084 大阪府枚方市香里ヶ丘 4-17-1

TEL : 072-860-3100 FAX : 072-852-3370

<http://www.shotokuen.or.jp>

